

日時 11/15 (火) 19:00-20:30 (開場 18:30)

入場無料

会場 日本茶喫茶・ギャラリー「^{ラフ}楽風」2階 ギャラリー
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4-25-12

定員 30名 (要予約) 公式サイトイベントページまたはFAXにてお申し込みください。

▶ イベントページ <https://saitamatriennale.jp/event/2041>

▶ FAX 048-824-5361 [担当: 大曾根・松本]

「野口里佳トーク申込」とお書き添えの上、お名前、連絡先、参加人数をご明記ください。後日、担当者よりご連絡いたします。

さいたまトリエンナーレ2016 参加アーティスト 野口里佳によるトークを開催いたします。

野口里佳は、さいたまトリエンナーレ2016のチラシやポスターとなったキービジュアルの写真(芝川)を撮影した作家です。大宮市(現さいたま市)で育った野口は大学在学中に写真作品の制作を始め、その後アメリカやオランダ、ドイツなど様々な国に住み作品を制作し発表してきました。

今回は武蔵浦和周辺の展示会場のひとつ旧部長公舎の一棟で、さいたまトリエンナーレのために新たに撮影した映像作品を中心に、インスタレーション作品を発表しています。

トーク会場は野口が作家活動の初期に最初の展覧会を行った、浦和にある日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」になります。今回の出展作品について話をするとともに、初期から現在にいたるまでの制作について、野口の活動を初期から知る楽風のオーナー、青山正博さんにもご参加頂き、お話をする予定です。



さいたまトリエンナーレ2016 キービジュアル
Photo: NOGUCHI Rika

野口里佳 NOGUCHI Rika

1971年、埼玉県生まれ。2004年よりドイツ・ベルリン在住。1994年、日本大学芸術学部写真学科卒業。1995年、日本大学大学院芸術学研究科中退。大学在学中より写真作品の制作を始め、以来国内外で展覧会を中心に活動している。2002年、第52回芸術選奨文部大臣新人賞、2014年、第30回東川賞国内作家賞を受賞。主な個展に「予感」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、2001年)、「飛ぶ夢を見た」(原美術館、2004年)、「光は未来に届く」(IZU PHOTO MUSEUM、2011年~2012年)など、主なグループ展にシャルジャ・ビエンナーレ8(シャルジャ美術館、アラブ首長国連邦、2007年)、「第55回カーネギー・インターナショナル」(カーネギー美術館、アメリカ、2008年)、「光 松本陽子/野口里佳」(国立新美術館、2009年)、ヨコハマトリエンナーレ2011などがある。国立近代美術館、グッゲンハイム美術館、ポンピドゥセンターなどに作品が収蔵されている。

アクセス

JR 湘南新宿ライン・上野東京ライン・京浜東北線「浦和」駅西口より徒歩10分
※お車でご来場の際は、近隣のコインパーキングをご利用ください。

お問い合わせ

さいたまトリエンナーレ実行委員会事務局
Tel: 048-829-1225
E-mail: bunka-shinko@city.saitama.lg.jp
URL: <http://saitamatriennale.jp>

